

新研究会設立について

(CIOTS Japan と作業遂行研究会)

経緯

2000年4月、作業療法の効果を明確に示すことができる評価法である **Assessment of Motor and Process Skills** (以下 **AMPS**) の講習会が、日本で初めて開催されました。**AMPS** は当事者の自然な環境での作業遂行を観察して、遂行の質を評価するという作業療法の独自性に合致した優れた評価法であり、医療、介護、教育などの分野の実践及び研究で、活用され続けています。2000年に、**AMPS** 及びその関連分野の理論や実践を研究し作業療法の進歩および発展に寄与することを目的として、**Assessment of Motor and Process Skills Project (Japan)** (**AMPS** プロジェクト) が、2002年に日本 **AMPS** 研究会が発足しました。**AMPS** プロジェクトと日本 **AMPS** 研究会は連携しながら、**AMPS** 講習会の開催、**AMPS** 及び関連分野の理論および実践に関する研究・調査・協力・援助、国内外の臨床家および研究者との交流を行ってきました。

新研究会設立の必要性

AMPS プロジェクト、日本 **AMPS** 研究会、作業遂行研究会という3組織は、役員や会員の多数が重複しており、それぞれの活動内容も重複する場合があります。作業療法は、作業を通して人々がより健康に幸福になっていくことを支援する専門職です。人が実際に作業を行うことを意味する作業遂行 (**occupational performance**) を維持・改善するための知識と技術は、作業療法士にとって不可欠です。この作業遂行を核とする研究会が必要です。一方、**CIOTS** の発展に連動していくためには、**CIOTS** の日本支部としての機能をもつ団体が必要です。そこで、日本の作業療法士の知識と技術の向上のため、**AMPS** プロジェクト、日本 **AMPS** 研究会、作業遂行研究会の組織再編を行い、より効果的に活動していきたいと考えます。

新組織

AMPS プロジェクト、日本 **AMPS** 研究会、作業遂行研究会という3組織を統合再編し、**CIOTS Japan** と作業遂行研究会という2つの新組織を設立します。

CIOTS Japan は、**AMPS**, **School AMPS**, **ESI** 講習会などの **Center for Innovative OT Solutions (CIOTS)** に関わる活動を行う。

作業遂行研究会は、作業遂行に関連する理論や実践に関する活動（作業遂行分析を行う勉強会、**OTIPM** 研修会、**OTIPM** 日本語マニュアルや事例集の作成など）を行う。

上記の通り「**CIOTS Japan**」と「作業遂行研究会」設立の趣意を表明いたします。

AMPS プロジェクト、日本 **AMPS** 研究会、作業遂行研究会